

旧上都賀農業振興事務所跡地の活用に係る要望

1 防災機能の整備について

地震等の災害発生に備え、地区住民が安全かつ迅速に避難するための拠点となる場所を地区内の適当な場所に確保しておくことは、地区住民の人命と財産を守るうえで極めて重要であることは言うまでもない。加えて、東部台地区は人口が多いことから、避難者を収容するのに十分な広さを有していることが求められる。

しかしながら、東部台地区は市街化が進んだ影響により、そのような避難場所を確保することが難しいことから、当該跡地については東部台地区全域を網羅する防災拠点として整備されたい。

2 交流機能の整備について

少子高齢化、核家族化、ライフスタイルの多様化、コミュニティ意識の希薄化、さらには人口の減少と流出など、様々な課題が山積する現代、そしてこれからの時代にあっては、地域の子もたちに、いかに自分たちの住む地域に愛着を持ってもらい、将来を担う人材に育てられるかが重要である。そのためには、子どもから大人まで多様な人同士が関わり合い、交流を深めることで、コミュニティ意識の醸成を図る必要がある。

特に東部台地区は自治会加入率が市内他地区よりも低いことから、住民同士の交流を促進し、コミュニティを維持していくことは切実な問題である。私たち地域で取り組んでいるソフト面のコミュニティ推進策の最大効率化を図るためにも、地区住民が普段から気兼ねなく集い、憩い、交流する拠点として、当該跡地に交流機能を有した施設又は空間を整備することを要望する。

併せて、子育て世帯が交流できる環境を整備し、地域で子育てを支援することは、東部台地区、さらには鹿沼市の将来の発展につながるものであることから、乳幼児とその保護者が集える屋内遊び場を整備されたい。

3 敷地の活用について

2で述べたような近年の社会背景を受け、東部台地区では各自治会のほか、地域住民による様々な団体等が危機意識を持ち、地域交流やコミュニティ推進を目的とした活動に主体的に取り組んでいる。

しかしながら、地区内人口の多さに比して、イベント等で活用できる広場等の確保が容易でなく、それらの活動に制約がある現状であることから、当該跡地にイベント等が開催できる広場を整備し、地区内の自治会や団体等で随時利用できるようにされたい。